

『子どもたちの国際教育のための倉石忠雄基金』の廃止について

1 設置の目的及び経過

子どもたちの国際教育に役立ててほしいとして、故倉石忠雄氏の遺族からの寄附金を基に基金を設立。平成19年9月3日に子どもたちの国際教育のための倉石忠雄基金条例（長野市条例第46号）を制定し、姉妹友好都市交流の活動に活用している。

2 姉妹友好都市交流の経過

姉妹都市（アメリカ合衆国クリアウォーター市）との相互派遣は、昭和55年から、友好都市（中華人民共和国石家庄市）との相互派遣は、昭和56年から開始し、それぞれ中断期間等もありながら令和5年度でそれぞれ37回と38回を数えている。昭和55年からは、一般財源により実施してきたが、上記のとおり平成19年に基金を設立してからは、基金を財源に実施している。平成30年に基金が枯渇したことから平成31年（令和元年）には、姉妹都市への派遣方法を見直し、派遣者は、従来の学校長推薦から公募にて選定することとし、且つ概ね1/2程度の自己負担を求めることを決定した。

		昭和55年	昭和56年	～	平成10年	平成18年	平成19年	平成30年	
交流状況	姉妹都市	可能な人数を派遣					中学生12名（基本人数）を派遣		
	友好都市	可能な人数を派遣					中学生12名（基本人数）を派遣		
事業費		年によりばらつきあり、詳細不明				9,000千円程度で派遣受入事業※を実施			
予算	一般財源	全て一般財源で実施							
	特定財源						基金創設	全て基金を財源に実施	
事業効果		国際感覚の醸成				オリンピックを契機とする一校一国運動等へ発展			

※ 派遣事業費の主な内訳

項目	事業費	中学生一人当たりの額	事業内容
姉妹都市派遣事業 （クリアウォーター市）	6,500千円	480千円	・ホームステイ ・学校交流 ・議会表敬訪問
友好都市派遣事業 （石家庄市）	2,300千円	170千円	・学校交流 ・議会表敬訪問

3 基金廃止理由

上記目的から基金を財源に姉妹友好都市との交流事業に活用してきたが、令和元年に基金が枯渇し、令和5年に残金を消化することから、令和5年をもって当該基金を廃止とする。

(単位：千円)

年度		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
倉石忠雄基金	積立	100,000									
	取崩		9,604	8,386	4,378	12,033	8,174	8,336	9,827	9,848	9,316
	残高	100,000	90,396	82,010	77,632	65,599	57,425	49,089	39,262	29,414	20,098

H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
9,001	9,656	0	922	0	0	519
11,097	1,441	1,441	519	519	519	0

新型コロナウイルス感染症により中断